

2020年8月4日

No. MME0106

シャトルタンカー向け発電機タービンと VOC 焚き補助ボイラを受注

三菱重工マリンマシナリは韓国の DSME(Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering Co., Ltd. / 大宇造船海洋) がノルウェー船主 KNOT(Knutsen NYK Offshore Tankers ※1)向けに建造予定の 124,000DWT の LNG シャトルタンカー2隻(船番 H.5482/H.5483)に搭載される発電機タービンと VOC 焚き補助ボイラを受注しました。タービンとボイラはともに 2021 年月中旬に DSME へ納入予定です。

本船は北海とバレンツ海の沖合で生産された原油を輸送するために用いられますが、原油を積み際にタンクから排出される有害大気汚染物質である VOC (Volatile Organic Contents/揮発性有機化合物)の無害化が必要となります。この無害化のために VOC 回収装置で生成される液化 VOC と同装置では処理しきれない余剰 VOC を共にボイラの燃料として再利用するものです。

特に余剰 VOC には窒素や二酸化炭素などの不活性ガスが 80%以上含まれますが、このような高不活性ガスであってもボイラの燃料として活用するとともに無害化処理できるのが特徴です。

また、ボイラからの蒸気で発電機タービンを回して得られた電力は、VOC 回収装置での消費を含む船内の必要動力源として有効的に活用することで、二酸化炭素排出量削減による環境負荷の低減並びに燃料削減に貢献します。

当社は船用のタービンとボイラの両方を独自デザインで供給出来る業界唯一のサプライヤーであり、今回の新造船におきましても両製品の最適化を図り納める予定です。

また、今回の受注を一つの契機として、引き続きシャトルタンカー商談にも積極的に営業展開していきます。

以上

※1 : Knutsen NYK Offshore Tankers (KNOT)

Knutsen Group の親会社である TS Shipping Invest(TSSI) と日本郵船(NYK) の合併会社。

担 当 窓 口 : 三菱重工マリンマシナリ株式会社